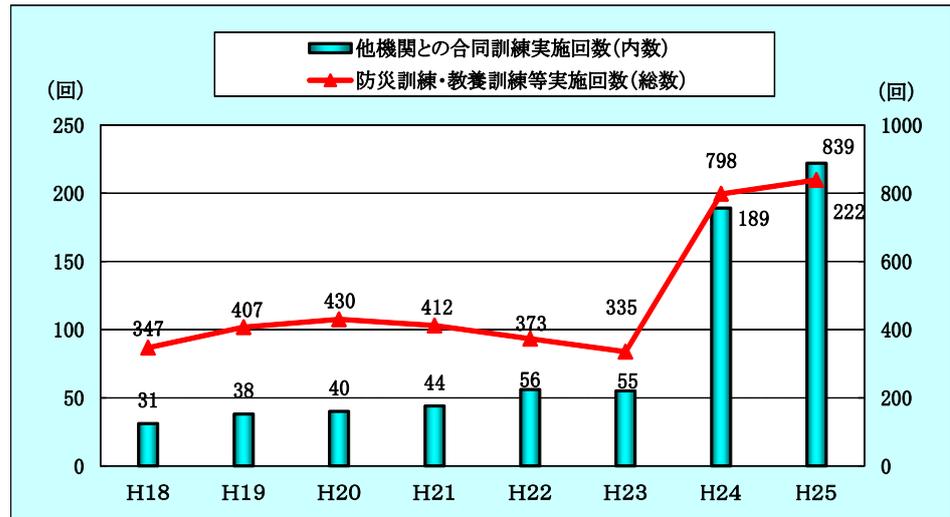


平成25年政策評価結果報告書

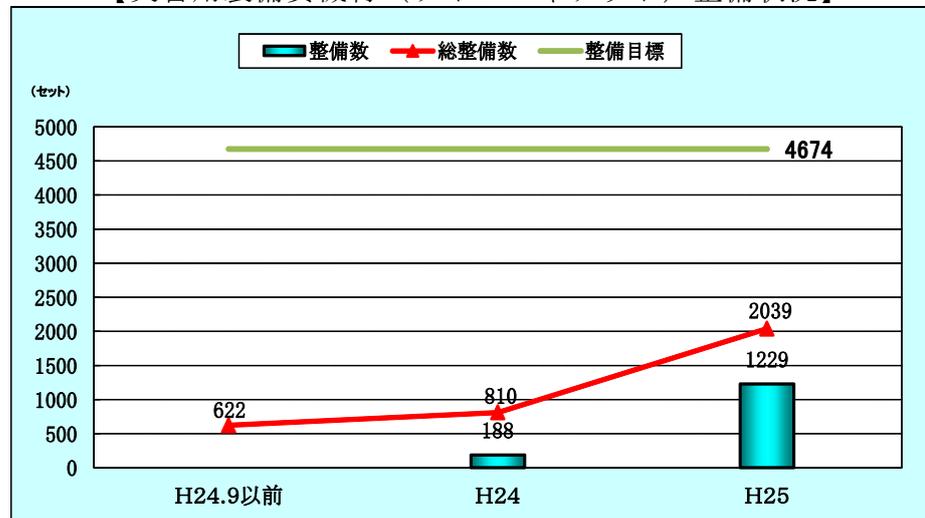
基本目標	大規模災害、テロ等緊急事態対策の推進と成田空港問題を踏まえた警備諸対策の推進
施策名	大規模災害等に対する的確な危機管理
施策目標	防災訓練の推進及び災害用装備資機材の整備拡充
実績（成果）	<p>県警では、東日本大震災への対応で得られた反省・教訓を踏まえ、既存の災害に係る危機管理体制を再点検し、今後発生し得る災害に備え、訓練を実施したり、災害用装備資機材を整備するなど体制の再構築をまいりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防災訓練等の実施 <p>東日本大震災の反省・教訓を踏まえ、いかなる状況においても迅速・的確な警察活動が展開できるよう、実践的な災害警備訓練を実施するとともに、自治体・企業等の関係機関と連携した防災訓練にも積極的に参加し、災害発生時における対処能力の向上を図りました。</p> 2 災害用装備資機材の整備拡充 <p>大規模地震等発生時に、県民の人命保護を最優先とした迅速な救助活動が展開できるよう、県民に最も身近な交番・駐在所に、「交番・駐在所用防災セット」を整備しており、その他、救命胴衣、救命浮き輪等の救出・救助資機材の整備を推進しました。</p>
推進結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 実践的な災害警備訓練の実施 <p>大規模災害発生初期を想定した県警全職員参加型の災害警備訓練を推進しました。また、東日本大震災での災害派遣活動に備え、実践的な装備資機材習熟訓練を推進しました。</p> 2 関係機関との合同防災訓練の実施 <p>九都県市合同防災訓練（千葉県及び千葉市会場）への参加をはじめ、関係機関等と連携し、地震や津波等の自然災害、航空機・列車等の大規模事故災害など多様な形態を想定した実践的訓練を推進しました。また、東日本大震災において、多数の帰宅困難者が発生したことから鉄道会社と協力した避難誘導訓練を推進しました。</p> 3 地域における防災訓練への積極的な参加 <p>各市町村防災訓練への参加をはじめ、高齢者（災害時要援護者）を災害から守るべく、老人ホームや介護施設等との防災訓練を推進しました。また、東日本大震災の甚大な津波被害を受け、保育園、小学校、自治会をはじめ、観光協会等と合同で、津波に対する危機意識の醸成を目的とした津波避難訓練を推進しました。</p> 4 災害用装備資機材の整備 <p>平成25年中は、災害発生時の救出・救助活動に迅速的確に対応するため、ライフジャケットや救命浮き輪等の災害装備資機材を沿岸地域を管轄する署を中心に整備を図りました。</p> <p>ライフジャケットは、全警察署に総数4674着を整備する予定で、現在まで2039着（約44.6%）を整備しました。</p>

【関係機関との合同訓練等各種防災訓練実施状況】



実績(成果)指標

【災害用装備資機材(ライフジャケット)整備状況】



参考指標

施策の効果

実践的な災害警備訓練や各種教養により、千葉県警察職員に対する危機管理意識を醸成させ、東日本大震災と同規模の震災発生時における警備体制の早期確立や円滑な災害警備活動等を行うための対応能力を向上させることができました。

今後の課題

東日本大震災後、千葉県警察災害警備計画及び千葉県警察業務継続計画を策定し、的確な対応が可能な体制は確立しましたが、今後は、各種教養や訓練を反復実施して、大規模災害発生時に的確な対応が図れるようにしておく必要があります。

方針

大規模災害時において、直ちに警備体制を確立し、千葉県警察の総力を発揮して、人命の保護を第一義とした災害警備活動が迅速・的確に展開できるよう、災害警備対策を推進していきます。

施策主管課
政策評価担当課

警備部警備課
警備部公安第一課